

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【公開番号】特開2010-6058(P2010-6058A)

【公開日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-002

【出願番号】特願2009-123024(P2009-123024)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月14日(2012.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生する複数のエネルギー発生体からなる列と、前記複数のエネルギー発生体にインクを供給するための、前記列に沿って配されたインク供給口と、が設けられたインクジェット記録ヘッド用基板であって、

前記列と前記インク供給口とはそれぞれ前記基板の長手方向に延びる様に設けられており、

前記長手方向に関して交差する交差方向に延びた前記基板の第 1 の辺に沿って近くに配された、前記複数のエネルギー発生体と電氣的に接続された第 1 の端子と、

前記長手方向に関する前記インク供給口の前記第 1 の辺に近い側の端部を通り前記交差方向に延びる仮想の線と前記第 1 の端子との間の領域において、前記長手方向に延びた前記基板の第 2 の辺の近くに配された、前記複数のエネルギー発生体と電氣的に接続された第 2 の端子と、

を有することを特徴とするインクジェット記録ヘッド用基板。

【請求項 2】

前記第 2 の端子の前記長手方向に関する幅は、前記第 1 の端子の前記長手方向に関する幅よりも大きく、前記第 1 の端子の前記交差方向に関する幅よりも大きい請求項 1 に記載のインクジェット記録ヘッド用基板。

【請求項 3】

前記第 2 の端子は、前記長手方向に長い長方形形状を有する請求項 2 に記載のインクジェット記録ヘッド用基板。

【請求項 4】

前記基板には前記複数のエネルギー発生体に駆動電力を供給するための電源配線およびグランド配線が設けられており、

前記第 2 の端子には前記電源配線および前記グランド配線のいずれか一方が接続されている請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のインクジェット記録ヘッド用基板。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のインクジェット記録ヘッド用基板と、前記複数のエネルギー発生体にそれぞれ対応して設けられた複数のインク吐出口と、を備えたインクジ

ェット記録ヘッド。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

上記目的を達成するため、本発明のインクジェット記録ヘッド用基板は、インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生する複数のエネルギー発生体からなる列と、前記複数のエネルギー発生体にインクを供給するための、前記列に沿って配されたインク供給口と、が設けられたインクジェット記録ヘッド用基板であって、前記列と前記インク供給口とはそれぞれ前記基板の長手方向に延びる様に設けられており、前記長手方向に関して交差する交差方向に延びた、前記基板の第１の辺、に沿って近くに配された、前記複数のエネルギー発生体と電氣的に接続された第１の端子と、前記長手方向に関する前記インク供給口の前記第１の辺に近い側の端部を通り前記交差方向に延びる仮想の線と前記第１の端子との間の領域において、前記長手方向に延びた前記基板の第２の辺の近くに配された、前記複数のエネルギー発生体と電氣的に接続された第２の端子と、を有することを特徴とする。